

# 景観

LANDSCAPE

# 観

## KEIKAN

上越人のDNAを探る

景観とは、山々の眺め、建物やまちなみ、人々の暮らしなど、私たちが日常的に目にしている、まちの表情のことです。市では、多くの人々が共感し、心地よいと感じる景観を、市民共有の宝物「景観資産」として、市民の皆さんと特定を進めています。

上越市  
景観情報紙  
2013. 4



秋晴れのもと、満開を迎えた柳葉ひまわり(安塚区)

景観セミナーへの参加や景観作品への応募をお待ちしています。

景観を  
**体感**

歴史と文化に  
彩られた  
上越の景観を「体感」しよう



景観作品を  
**募集**

伝えたい、こころの  
なかに輝く「景観」

### 景観とまちの歴史の関係を知る「景観セミナー」

上越市の歴史的な魅力があふれる景観を体で感じてみませんか。後日、広報上越や市ホームページ等で詳細をお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

#### まちあるき 景観セミナー

高田のまちは、江戸時代に高田城を中心として整備されたまちで、2014年に開府400年を迎えます。今回のセミナーでは、景観という視点を持ってまちを歩くことで、改めて歴史あるまちの魅力を感じ、そして次代に伝えたい景観を探します。

- 開催時期 7月下旬
- 場所 高田市街地
- 内容 高田の歴史を学びながら、寺町の寺院群、雁木通り、旧師団長官舎などの歴史的な建造物等を見学します。  
※内容は変更になる場合があります。



越後国高田城絵図（高田図書館蔵）  
正保頃（年代不明）の高田城と城下町

### 景観を題材とした作品を募集

多くの方から上越市の素晴らしい景観に気付いていただくため、あなたの心の中の特別な「景観」を作品にしてみませんか。応募いただいた作品は、景観情報紙やホームページ等での紹介や、平成26年度に予定している「景観フェスティバル（仮）」での展示を予定しています。また、景観資産として特定した作品については、「景観資産マップ」などによる景観資産の紹介の際に活用させていただく予定です。

#### ■募集作品

季節を感じさせる風景や、歴史的な建物、趣のあるまちなみなど、あなたの心の中に輝く上越市の景観を作品にしてください。

#### ■募集期間

「春・夏」の作品：5月1日～9月30日  
「秋・冬」の作品：11月1日～平成26年3月31日

#### こんな作品をお待ちしています

- 絵（水彩画、油絵、ちぎり絵、水墨画、版画、絵手紙、CGなど、絵の種類は問いません）
  - 写真
  - 俳句、短歌
  - 作文、詩
- ※上記以外の作品については、お問い合わせください。

#### ■応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上、作品とあわせて、上越市役所3階 都市整備課までご提出ください。なお、絵や大きな作品については、写真撮影後に一度返却させていただき都合上、作品受付日を設ける予定です。応募用紙は上越市役所、南北出張所、各区総合事務所に設置するほか、ホームページからもダウンロードできます。

その他、募集の詳細については、応募用紙またはホームページをご覧ください。

### 景観資産の魅力を堪能

【平成24年11月10日開催 市民景観セミナー】

定員を上回る25名の皆さんから参加いただき、平成24年度に特定した自然分野の景観資産の中から「虫川の大スギ（浦川原区）」「田麦ぶなの森園（大島区）」「朝日池（大湯区）」を巡りました。

「虫川の大スギを守る会」の横田敏行さんからは、大スギの健康状態の管理や木道の整備など、会員や地域の方々の努力が、素晴らしい景観の保全につながっていることを説明していただきました。

田麦ぶなの森園は、あいにくの小雨模様の中での散策でしたが、インストラクターの植木務さんから、雨水が滝のように木を伝う「樹幹流（じゅかんりゅう）」を解説していただきました。

参加者の皆さんからは、「紅葉真っ盛りの素晴らしい景観を見ることができてよかった。」「景観というものがどのようなものなのかがよく分かった。」といった声も聞かれました。

▶彩りの美しいぶな林を散策



▶植木さんからは、ぶな林の魅力のほか、林の中で生きる動植物についても解説いただきました。



# 景観資産を訪問してみよう

## 景観資産（豊かな自然）の10件

高田公園の桜  
高田公園のハス  
諏訪神社の大ケヤキ

柳葉ひまわり  
田麦ぶなの森園  
虫川の大スギ

夕日の沈む日本海  
米山  
朝日池  
松ヶ峯周辺の桜と妙高山

長かった冬も終わり、やわらかな春の日差しを感じる季節となりました。春といえば、お花見を楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか。

市では、平成24年7月に、豊かな自然として上記の10件の景観資産を特定しましたが、その中には「高田公園の桜」と「松ヶ峯周辺の桜と妙高山」の

二つの桜の名所を特定しています。

それぞれの魅力を持つ、この桜の名所について、エコ・グリーンの青木ユキ子さんと、中郷観光協会会長の白石尚男さんから紹介いただきました。ぜひ皆さんも訪れてみてください。



## 高田公園の桜

高田公園の桜やハスの  
保全活動を実施  
エコ・グリーン 代表  
青木 ユキ子さん



### 高田公園の桜の魅力

この地域に暮らす人たちにとって、桜といえば高田公園の桜を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。一年の中で、この時期は公園全体が最も華やぐ時期です。

### 保全活動

桜は根でも呼吸を行うことから、根の周囲が踏み固められると弱ってしまうため、「根っこの保護」を重点に活動しています。根を傷めないように掘り起こし腐葉土を入れたり、踏み固められないように「リュウノヒゲ」を植えたりしています。ソメイヨシノの寿命は60年から80年といわれていますが100年以上経っても若々しい木を目指し、また寿命の長いシダレザクラなどを名物桜として、みんなで守り育てていきたいものです。

### 注目の桜

数千本の桜の中でも、「さくらロード」の忠霊塔前にあるソメイヨシノは、樹齢100年以上と思われる、どっしりとした風格のある自慢の桜です。この木を基準として、開花宣言を行っています。ぜひ観桜会に訪れた際にご覧ください。

### 桜の歴史や保全活動

昭和30年代後半から40年代にかけて、観光開発の一環として植栽を始めたのが最初です。観光協会や行政、付近のゴルフ場などが協力し、桜の維持管理に努めています。

てんぐ巣病にかかった桜を倒したり、雪で折れた枝の処理など維持管理も大変ですが、年に30本程度を植栽するなど、魅力の維持に努めています。

### 松ヶ峯の魅力

松ヶ峯の桜は、高田公園の桜の開花から10日ほど遅れて咲き始めるのですが、やはり、残雪の妙高山と松ヶ峯池との組み合わせが最高に魅力的で、ここだけの景観と言えるのではないのでしょうか。天候が良ければ、池に妙高山が写りこむ「逆さ妙高山」を見ることができ、カメラマンやスケッチの方などが大勢来られます。

残念ながら、シートを広げてお花見…という場所は少ないのですが、近くにある「泉縄文公園」は、家族連れでゆっくりと花見を楽しむことができますので、ぜひ合わせてお越しください。



## 松ヶ峯周辺の桜と妙高山



松ヶ峯周辺の桜の保全  
活動を実施  
中郷観光協会 会長  
白石 尚男さん